

はじめて霜のおりた朝、寒い朝である。幼稚園のお庭の面やベンチなどの木の所が白い。恐らく今迄あんまり霜になき注意しなかつたであらう子ぎも達に霜こいふものを、はじめておりた、はじめて寒かつた朝みせたいものである。

藤の葉柄

すつかり葉の落ちた藤棚の下はこのごろ毎朝澤山の細長

手 技

第九週

自由畫 魚 二回

前週に魚の繪の鑑賞をすませて、この週自由畫として二回つづけて魚をかゝせる。

粘土 自在 一回

製作 三回

誘導保育案によるおもちゃやの品物づくり。

がてう

がてうを謄寫版なごにて畫きて、きりぬかせ足のこころ

い葉柄が落ちてゐる。ごみである。掃き捨てるに何の躊躇もないものであるが、その丈夫な細い自然のひもはげぢくのおもちやになり、龜になり等して一日子ぎもの相手になつて呉れる。私達は太いこころが藤の木についてゐた所、そしてこの兩側に葉つばがついてゐた等話し乍ら子ぎも達ミ一しよにあんで遊ぼう。

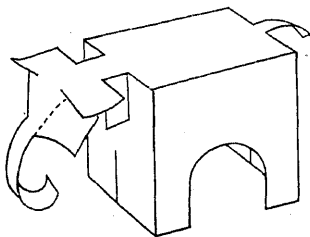
に圓形の臺をつけて立たゝせる様につくる。數羽つくつて小さい小屋なごつくつてあしらふこよい。

象

出來上り圖の様につくり頭は幼兒にかゝせる。

刀

心を新聞紙なごをくるくまいて途中刀の鐔をボール紙で



つくつて後で墨を全體にぬる。

第十週

自由畫 二回

ぬりゑ モミヂ 一回

このぬりゑの時には出来るだけ紅葉の實物を用意してそれをみながらぬる。

製作 四回

誘導保育案によるおもちゃ

ややつゞき

うさぎ

出来上り圖の如く兎をつくる

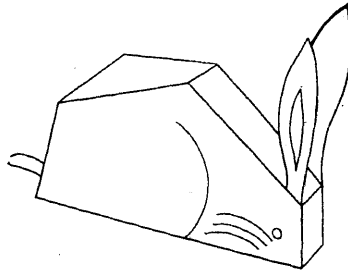
フラ〜人形

色ざりぐの組紙で、手

足、胴をつくり畫用紙で顔をつくる。

人形の着物

人形花子さんの着物をつくる。人形に合せて和服をつくる。色のラシヤ紙或は畫用紙に模様をかゝせ色をぬらせ



る。

第十一週

自由畫 二回

ぬりゑ カミフウセン

これももみぢ同様おもちゃの紙風船を用意しておいてそれを見てぬらせる。

製作

おもちゃややつゞき

双六のさいころ

粘土で一センチ半位の立方體をつくり、乾ききつた上、

胡粉をぬり毛筆で、一より六までまるをかゝせる。

風車 二種

普通の風車 模造紙を方形に切り四角をあつめてマメゴ

ムでこめる。

プロペラ風車

ボール紙を臺にしてプロペラ形に模造紙をはる。

第十二週

自由畫 三回

ぬり紙　ゴドモトマリ

製作

双六のさいころつゞき

お金

おもちゃや店の商品もはら出来上つたのでボール紙を丸

く切らせて、一セン二セン三セン十センなぞかゝせてう

りかひ遊びの準備をする。

正札

畫用紙或は白ボール紙にお金同様に一セン、二セン、十
センの正札をかゝせる。

年長組、第二保育期

——満五歳、満六歳——

生 活 訓 練

第十週

幼稚園さいふで、言葉の作法に就てぎれだけのこ
をしなければならぬか。どこまでの要求が適切か。之
れは相當の問題になる。こゝは此の問題を全面的に議論す

る場所でないが、ぎりぐりのところ、次の二つだけは必ず
注意しなければならない。

(一) 先生がいゝ言葉を使ふこと。

(二) 言葉によつてその奥の心もちの養はれるものは幼児